

<アンケート集計報告>

第3回男女共同参画ランチョンセミナーの際に配布したアンケート用紙のうち、124件（一昨年 129、昨年 134 件）を回収し、集計を行いました。参加者構成は例年どおりでした。具体的には、男女構成は、男性 63%（一昨年 61%、昨年 59%）、女性 29%（一昨年 35%、昨年 41%）、男性のうち 53%、女性のうち 47%が独身でした。大学院生、ポストドク、助教など 35 才以下の方々が約 50%でした（図1）。また、男女共同参画に関する集会に参加するのが初めてという方が約 50%でした。今回のセミナーは 3 回目ということもあり、2 回目以上（2 回目 25%、3 回目 21%）という方が半数以上おり、興味を持ってリピートしてくださる方が出てきてくれたのではないかと思います。今後、初めて参加する方とリピーターの方の両方に役立つ内容を検討していきたいと思えます。また、ランチョンセミナーということで、予算の関係もあり、約 600 名の大会参加者のうち、150 名程度の昼食の準備しかできない状況については、今後、希望者が全員参加できるように規模の拡大を含めて理事会に要望していきたいと思えます。

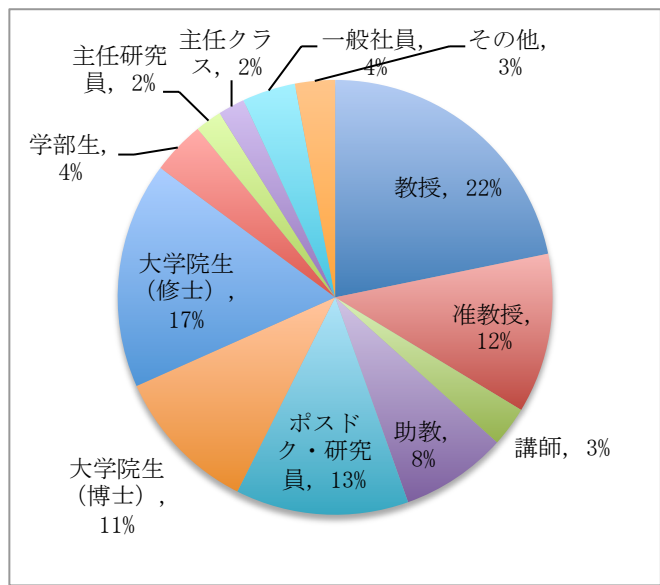


図1 参加者の職階級

また、コメントとして質疑の時間をもっと長くって欲しいという希望が 4 件ありました。ランチョンセミナー形式で昼休みの時間を使って開催する以上、時間の制限は非常に厳しいものがあるのですが、次回以降、質疑の時間を十分にとれるような時間配分を考えたいと思えます。

今回のセミナーでは「イクメン過去現在未来」というテーマで、御夫婦で子育てと研究を行っている名古屋大学の町田泰則会員、東山哲也会員に日々の工夫などについて具体的にお話いただきました。64 名の方から参考になったというコメントをいただきました。無理なお願いにご協力いただきましたお二人の先生に心より御礼申し上げます。

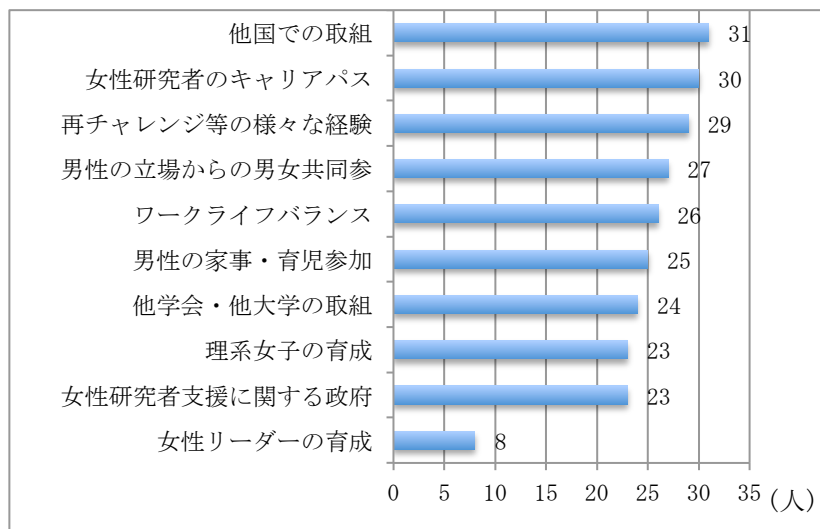


図2 今後のセミナーにおいて今後取り上げて欲しいテーマ

大会時のセミナーの内容については委員会で用意した項目のほぼ全てについてまんべんなく希望がありました（図 2）。また、回答者より、「男性の育児休暇」「女性枠の妥当性」「単身（別居）生活」「院生の結婚」（各 1 名）についてもとりあげてほしいという意見がありました。今後のセミナーにおいて順次取り上げていくべく委員会で検討したいと思います。

今後の植物学会における男女共同参画活動については（図 3）、「大会時のランチョンセミナー開催」が最も多く、現状どおりの活動を今後も続けていくことが学会員の要望にかなっていることがわかりました。また、次いで要望の多かった「女性だけに限定しない若手支援」については、提案いただいた方の約 75%が男性でした。男女に限らず、若手の状況が厳しいことがうかがえます。学会内で若手支援全般についての要望が高いことを理事会にご報告させていただきます。女性座長の積極的登用については、前回、今回大会において大会本部のご協力により実現することができました。今後も引き続き、大会本部への働きかけを継続していきます。

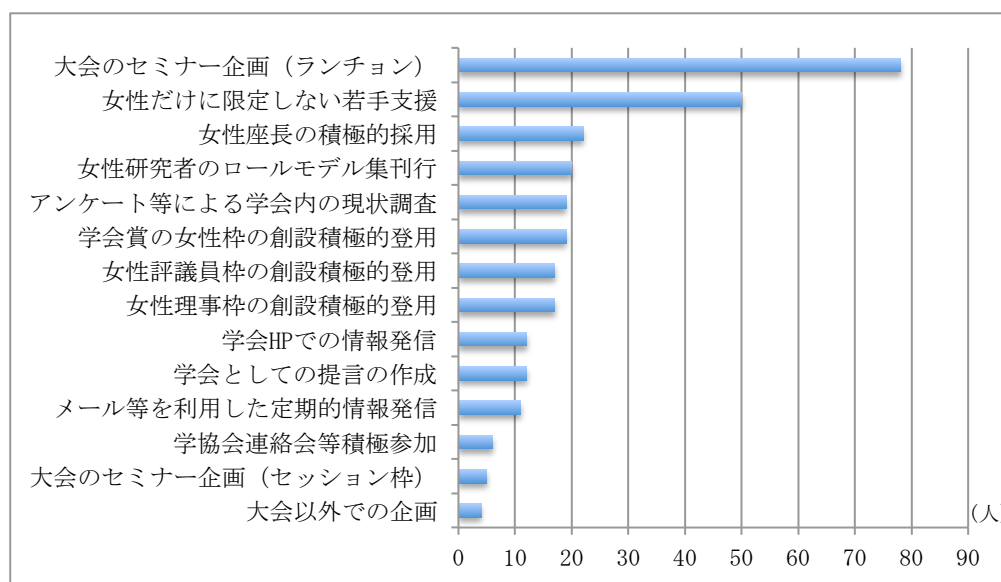


図 3 植物学会における男女共同参画活動への期待

男女共同参画委員会では、今後も学会員の要望にあった活動を続けていきたいと思えます。ご意見などを委員長（川合真紀：mkawai(アットマーク)mail.saitama-u.ac.jp）宛てお送りいただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひ致します。

アンケート取りまとめ・長谷部光泰(基生研)